

第6回 SC サテライト放送株式会社 番組審議委員会 議事録

1. 開催日時： 平成 30 年 12 月 18 日（火）13 時 00 分～14 時 15 分
2. 開催場所： Daiwa リバーゲート 11 階
3. 審議委員出席者：
委員総数 7 名
出席委員の氏名 音好宏氏（委員長）・入江たのし氏・五井千鶴子氏・棚橋節子氏
桧山珠美氏・細川幸一氏・万場徹氏

4. 事業者側出席者：

SC サテライト放送株式会社

代表取締役社長 佐々木良太

取締役 上原宏一・星野友昭

監査役 廣澤 悌二

ジュピターショップチャンネル株式会社

プランニング&プログラミング本部 プログラミング部長 宇都宮貴吉

日本テレビ放送網株式会社

事業局有料放送事業部 有料放送事業部 担当副部長 黒木まゆみ

事業局有料放送事業部 有料放送事業部 主任 酒向真一

報道局サイバー戦略部（兼）ライブソリューション部

「日テレ NEWS24」プロデューサー 小林整司

5. ジュピターショップチャンネル株式会社への措置命令に関する説明・報告：

当社が放送するショッピング専門チャンネル「ショップチャンネル」を運営するジュピターショップチャンネル株式会社に対し、2018 年 3 月 16 日付で、消費者庁より不当景品類及び不当表示防止法（景品表示法）第 7 条 1 項の規定に基づき発令された措置命令に関し、当社社長より説明・報告。あわせて、消費者庁宛に提出した再発防止策についての説明も行った。

●審議委員意見

昨年の番組審議委員会での審議対象番組において、通常価格のときは、お客様は買わないであろう、という前提で番組が進んでいるように感じたので、明日以降価格は本来の価格とはいえないのではないかという問題意識を持ち、また、そのように審議会で発言していたのにもかかわらず、今回措置命令が下されることになり、非常に残念に思う。

6. 番組審議：

SC サテライト放送株式会社で放送するチャンネルの審議

① 「ショップチャンネル」(055 c h)

審議番組：「ここが違う！ヒットの予感 メイ お気に入りのバッグで出かけよう！
ナイロンバッグデビュー」

放送日時： 2018 年 9 月 15 日（土） 18:00 ～ 19:00

●審議委員意見

- ・（ウォレット）ポシェット5種が紹介されたが、柄の名称（ボタニカル、フラワー&ドット等）がわかりづらかった。
- ・複雑な模様の商品に、一般的ではない名称を使用する場合は、柄の名称に番号を振るなどするのがよいのでは。（この柄の名称では）電話で注文するときに間違えてしまう人が多いのでは、と感じた。
- ・（〇%OFF と明記している番組がある一方で、）今回の番組の価格表示において、〇%OFFとは、強調されていなかった。（表記方法は）二種類あるのか？
- ・（リュックの重さが360gとの表記があったが、）数字だけではなく、例えばお豆腐一丁分、ペットボトル1本分等、具体的に軽さをイメージができるようなものが示してあればさらによかったと思った。
- ・番組の中で、マチが〇〇cm、ペットボトルがここに入る、ダウンジャケットを着ても斜めがけが充分にできる（紐の）長さ、機内にも持ち込める、膝にのる大きさ、等、具体的に生活のシーンを説明していて、生活感が出ていてよかったなと思った。
- ・（商品を説明する際、）キャストが、「すごく」という言葉を多用していて、耳に残ってしまった。
- ・ゲストの方の説明が、（通常の番組と比較すると）割とたどたどしく、初々しかつたのが気になった。カメラの動きとゲストの方の説明がかみ合っていないところがあり、珍しいなと感じた。（ゲストの方が）説明に慣れていないことで、一生懸命さが伝わり、かえって新鮮でよかった。
- ・（リュックの紹介時にキャストが）黒が人気です、と言っているが、（番組の）最後まで黒が残っていた。黒のみ、用意している点数が多いのか？と考えた。余る色をいつもキャストが着用している印象で、（その色を）売ろう売ろう、としているように感じた。
- ・キャストが、（バッグではなく）バックと言っているように聞こえた。
- ・（バッグを着用している外国の）モデルさんのスタイルがよいため、身長が低めの方が着用した場合のイメージが抱きづらい。（バッグを着用する）キャストの身長は〇〇cm、と紹介したり、150cm程度のモデルさんも起用し、着用してもらえるとイメージがわかるのでは。
- ・2WAYボストンバッグの説明時、（サイドに傘が収納できるという説明とともに）「今日は東京都内は雨が降っていますものね」、という発言があり、生放送ならではの印象を抱いた。
- ・表現の中でとてもいいなと思ったのは、（バッグの）中に入れたものをテーブルいっばいに並べたところである。これはテレビ・映像ならではの説明の仕方、わかりやすくよかった。

- ・購入動機として、マザーズバッグとして使用してもよい、一泊旅行や、ジムにも、との説明があったが、なるほどな、と思った。消費者の目線にたった表現が印象的だった。

- ・MEI というブランドを知らなかったので、自身でも調べてみた。一般的にはあまり知られていないブランドを紹介する際、ブランドが生まれた背景、コンセプト、思想等の説明があるとよいと思った。

- ・(今回の番組内で) 少しだけブランドの説明があったものの、商品の解説に終始してしまい、新しいブランド・新たな商品を紹介するという企画番組のコンセプトからすると、残念だった気がする。

- ・よく広告では、欧米系のタレントを起用すると高級感がでるといわれるが、(ショッピングチャンネルは) どのあたりを狙って起用しているのかが気になった。

●事業者発言

- ・(今回の番組で) OFF 率の明記がないのは、(通常) OFF 率が 30%以上のときのみ、〇% OFF と表記をしているからである。それ以外のときは、事実のみ表記している。

- ・通常ファッションの商品紹介では、外国人のモデルと日本人のモデルを2名起用する人が多い。モデルの方の起用の意図は、機能性・使い勝手の訴求がメインであり、それに加え、ファッションとしてイメージを高めるため、外国の方のモデルを起用している。

- ・機能の説明が多くてよい、購入の動機付けの説明がよい、というお言葉をいただいて大変嬉しく思っている。お店に置いてあるものを買ってもらうということではなく、(番組内で) 説明できることがショッピングチャンネルの優位点であり、お客様にとっては購入動機につながると思うので、今後も丁寧な説明を続けていけたらと思っている。

②「日テレNEWS24」(349 c h)

審議番組：「Late Afternoon News」

放送日時：2018年10月15日(月)～10月19日(金) 15:00～18:00

●審議委員意見

- ・(この番組のように) アナウンサーがずっとニュースを読み上げるパターンでは、メリハリが付きづらい。アナウンサーがどのようにニュースを紹介していくのかにかかっておりアナウンサーの) キャラクターをどのように立てていくのが課題だと感じた。

- ・(この番組は、東京市場が) 15時に締まった直後のマーケット情報を最も早く見ることでき、素晴らしいと感じた。

- ・(アナリストによるマーケット情報を解説の中で) 滑舌が悪く、聞き取りづらい日があった。

- ・ニュースの内容が、幕の内弁当のように様々であるため、アナウンサーの立場にたつと、下読みが大変であろうことが想像でき、一人で大丈夫なのか、という気がした。人手の間

題もあると思うが、このように（ジャンルの異なる）様々なニュースがあると、一人のトーンでやるのは、大変なことだと同情した。

- ・アナウンサーの人の中に、下を向いてばかりの人がいるのが少し気になった。（アナウンサーを）どのような基準で選んでいるのか。

生中継（＝ブレイキングニュース）がない場合は、AI キャスターでもよいのではと感じた。

- ・（番組の）冒頭に（アナウンサーが）一言コメントする等、アナウンサーの方々のモチベーションが上がるような場面があればよいと思った。

- ・ニュースのバラエティが豊富なので、アナウンサーの方の表情は大変だと思うが、事件とほっとするニュースとでは、表情の変化があってもよいのではと思った。

- ・（番組を見ていて）外国人の犯罪が増えてきていると感じた。特にネットにまつわる詐欺の事件が増えてきていて、今後も増えていくと感じた。

ニュースのバラエティが豊富なので、アナウンサーの方の表情は大変だと思うが、事件とほっとするニュースとでは、表情の変化があってもよいのではと思った。

- ・（番組を見ていて）外国人の犯罪が増えてきていると感じた。特にネットにまつわる詐欺の事件が増えてきていて、今後も増えていくと感じた。

- ・音量が同じレベルであれば心地よく聞こえるが、アナリストによるマーケット情報解説の部分はとても小さく聞きづらく、それと比較し、アナウンサーの音量が大きく、現場の取材の音量はさらに大きかった。音量レベルは同じにしていただけたら助かるなどと思った。

- ・ロボットの技術を競う世界大会のニュースがあり、ロボットに関心があるので行ってみたいと思った。イベント開催期間等の情報は、音声のみならず、テロップでの表示もあると良いと感じた。

- ・我が家のテレビの設定の問題かもしれないが、白いブラウスを着ているアナウンサーの方の洋服が、ハレーションを起こしているように見えて気になった。

- ・そもそも24時間ニュース番組は、どのような人がどのような目的で見ることを想定しているのか、いつも疑問に思っている。

- ・ニュースの内容がバラエティに富んでいてよいのだが、次にどのようなニュースがくるのかが、予想不可能。それがおもしろいと思う人もいるだろうが、（あるテーマに）関心がある人にとっては、ニュースの順番がわかることで、この（＝さほど関心のないニュースの）間は他になにかしよう、と思えることもあると思う。

- ・字幕は、どのように処理しているのか。

- ・日頃から「日テレ NEWS24」を見ているため、災害報道に力を入れているのもよく知っている。（今回の番組でもその）特色がでていると思った。

●事業者発言

・「日テレ NEWS24」は、地上波では決まった時間帯でしかニュースを伝えられないということから出発し、24 時間（ニュースを）伝えることに意義を見出し、そのときに情報が欲しい人のために伝える目的で始めた。その中で、今回の「Late Afternoon News」は、一日の様々なできごとが活発に動いている時間帯の番組であるため、基本的には、きちんとニュースを網羅し、見せていこうという形で組んでいる。

・メリハリという点でいうと、時間帯により番組の性格をかえている。昼の時間帯は、12 時から 15 時に「SOCIAL」という番組を放送しており、番組内ではゲストを呼んだり、企画のような VTR を流している。また、21 時から「デイリープラネット」という番組で、今日一日の出来事をきちんとまとめて伝えることで、少しメリハリをつけている。

・アナウンサーの A I は、既に一部の番組内で取り入れている。「SOCIAL」という番組内の短いコーナーの中で、A I アナウンサーに読ませており、やはり人が読むのと若干異なるので、(視聴者の方からの) クレームも懸念していたが、意外と受け入れられているようだ。ただ、全面的に A I に置き換わるのはまだまだ先のことだと思う。